

## カサ・ビエハ (Casa Vieja)

制作年：2010年

上映時間：95分

ジャンル：長編劇映画、カラー

制作国：キューバ、ICAIC

言語：スペイン語

監督：レスター・ハムレット

脚本：ミハイル・ロドリゲス／レスター・ハムレット

総制作：カルロス・デ・ラ・ウエルタ

撮影：ラファエル・ソリス

音楽：アルド・ロペス・ガビラン

編集：アドリアン・ガルシア

サウンド：マイケル・バルサガス



### 出演

ヤディエル・フェルナンデス (エステバン)

ダイシィ・キンターナ (姉ラウラ)

アルベルト・ブホル (兄ディエゴ)

スサーナ・テヘーラ (義姉ダリア)

アドリア・サンターナ (母オネリア)

イサベル・サントス (隣人フローラ)

マウネル・ポルト (叔父イヒニオ)



原案：アベラルド・エストリーノ作、古典的戯曲ラ・カサ・ビエハ (1964年)

### あらまし：

父の死が近いことを知り、スペインに在住の主人公の建築家エステバンは、14年ぶりに、キューバの生家に帰る。そこから始まる36時間の物語。空港で迎えたのは、最愛の姉ラウラ。ハバナ市西部の海岸にあるサンタ・フェにある家に帰ってみると、最初は14年ぶりの再会の感動があったが、次第的に、それぞれの家族が問題を抱えていることが分かり始める。母のオネリアは、40年連れ添った夫の容体の悪化に悲嘆にくれている。ラウラは、妻子ある男との隠れた愛に疲れている。



兄のディエゴは、融通性のない共産党員で、男性優位主義者。その妻、ダリアは、海外からの家族送金で生活している。叔父のイヒニオは、米国への移住を心待ちにしている。それぞれが、

生きるために秘密を持ち、ウソをつき、不満と夢をもっている。エステバンは、一見普通に見える同性愛者だが、家族は同性愛を嫌悪している。父の死を機会にいろいろな点で激しい言い合いとなり、エステバンは、再び家を去っていく。彼に母が渡したのは、彼の小屋の鍵であった。

#### 受賞歴：

2010年、第32回国際ラテンアメリカ新映画祭審査員賞

2010年、第32回国際ラテンアメリカ新映画祭大衆性最優秀賞

#### 監督 レスター・ハムレット

映画、演劇監督

1971年ハバナに生まれる。

1991年芸術教育大学卒業。演劇監督専攻。キューバの映画・テレビ国際学校で学ぶ。キューバ芸術大学(ISA)で視覚コミュニケーション学部で学ぶ。キューバ全国作家・芸術家同盟(UNEAC)会員。



#### 作品歴

1991年 古い物語 (演劇)

以後、演劇監督、ビデオ・クリップ作品多数

2004年 リラの物語 (監督・脚本)

2006年 反抗期 (編集)

2008年 彼、あなたがた、私達 (監督・脚本)

2010年 カサ・ビエハ (長編劇映画、監督・脚本)

2011年 寓話 (長編劇映画、監督・脚本)

#### 女優イサベル・サントス

1961年、カマグエイ生まれ。国立芸術高等学校(ENA)卒業。その後、演劇、テレビ、映画で活躍。数々の連続テレビ小説で主役を演じる。

1983年、フアン・カルロス・タビオ監督の「交換」に出演。



1987年、フェルナンド・ペレス監督の「地下活動」で主演。

1998年、フェルナンド・ペレス監督の「口笛高らかに」で主演。

2000年、ウンベルト・ソラス監督の「オチュンのための蜜」で主演。

2005年、ウンベルト・ソラス監督の「バリオ・クーバ」で主演。

キューバのほとんどの実力派監督の作品に出演。堅実な演技には定評がある。